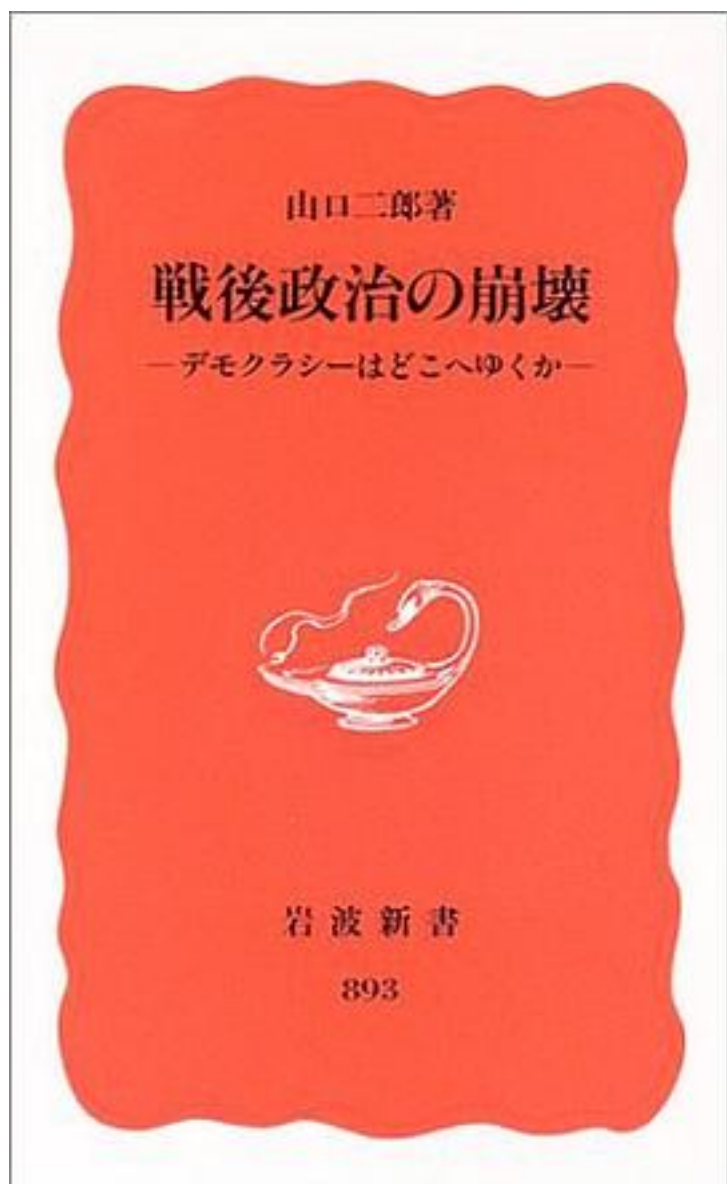


戦後政治の崩壊—デモクラシーはどこへゆくか



[戦後政治の崩壊—デモクラシーはどこへゆくか 下载链接1](#)

著者:山口 二郎

出版者:岩波書店

出版时间:2004-6-18

装帧:新書

isbn:9784004308935

構造改革の掛け声むなしく、旧来型の利益政治は温存され、社会には将来への不安感が広がっている。一方で、改憲論議が進む中、憲法第九条のもとで自衛隊は海を渡り、二大政党制への道も敷かれた。戦後政治の枠組みが崩壊した今、日本政治はどこへ向かうべきなのか。政治への幻滅から脱却し、デモクラシーを立て直す新たな座標軸をさぐる。

作者介绍:

山口/二郎

1958年岡山市生まれ。東京大学法学部卒業後、同助手を経て、現在、北海道大学法学部教授。専攻は行政学(本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです)

目録: 第1章 戦後政治とは何だったのか
第2章 変質した憲法政治―「九条=安保」体制の終焉
第3章 迷走の政党再編―政治改革の帰結と政党の変質
第4章 構造改革の政策対立―崩れゆく「平等」
第5章 政治主導への挑戦―官僚依存は超えられたか
第6章 デモクラシーの融解
第7章 次なるデモクラシーに向けて
・ ・ ・ ・ ・ (收起)

[戦後政治の崩壊―デモクラシーはどこへゆくか 下载链接1](#)

标签

日本政治

一般教养

政治史

评论

[戦後政治の崩壊ーデモクラシーはどこへゆくか 下载链接1](#)

书评

[戦後政治の崩壊ーデモクラシーはどこへゆくか 下载链接1](#)